

2019 年度交換留学(派遣) 報告書 ③

所属学科／研究科	史学科
留学先国	中国
留学先協定校	陝西師範大学
留学期間	約 11 ヶ月
留学時学年	2 回生
留学先での所属	国際漢学院
渡航日／発着便	2019 年 2 月 25 日 関空 → 西安
帰国日／発着便	2020 年 1 月 18 日 西安 → 関空
留学先で取得した単位数合計	40 単位
本学で認定された単位数合計 (※30 単位上限)	25 単位 (中国語応用一括)
海外留学助成金	20 万円 (前期 10 万円 + 後期 10 万円) 助成
検定試験合格者助成金	—
備考	—

留学成果レポート

■なぜ、派遣先国・派遣先大学への留学を希望しましたか？

日本人が少なく、国籍も幅広いので、外国人と関わる中で中国語が一番のツールとなり、より早い中国語の習得につながると考えたからです。

■留学するにあたっての目標は何でしたか？ 目標は達成できましたか？

自分の意思を伝えられるようになること。しっかり中国語を話せるようになること。
日本人に対しても外国人に対しても中国語が話せるようになるにつれて、自分の意思を伝えられるようになりました。2つ目に関しては、まだ不十分なのでこれからも勉強を続けていきたいと思います。

■派遣先国・大学で、どのような国際交流を行い、どのような活動をしましたか？

日本語コーナーという場で、日本語学科の学生さんや日本語に興味のある学生さんと日中文化の交流をしました。大学主催の活動に参加して多くの外国人学生さんとも交流をはかりました。

■留学中、どんな困難や苦労がありましたか？またその困難をどう乗り越えましたか？

聞き取れない時期はとでも苦労しました。先生の言っていることがやっとな聞き取れたとしてもクラスメイトの言っていることが分からない、町中の人の方の言っていることが分からないときが一番つらかったです。その時は相互学習をしている日本語学科の学生さんたちに助けをもらっていました。基礎から教えてもらって勉強し続けることで、多少の会話ができる水準まで達することができました。

■ 留学前と比べて「学習面」で成長できたと思う点はなんですか？

異国の地で、勉強しなければ誰も意思疎通が図れないという状況の中で、継続して勉強するということを留学してはじめてしたと思います。問題をため込まずに、小さいことでも質問して解決することもはじめてでした。帰国までに話せる、聞き取れるようになったのは、今までの学習習慣を変えたことが大きいと思います。継続して勉強することでテストの結果だけでなく、しっかり実感できる形で中国語が習得できたと思います。

■ 留学前と比べて「人物面」で成長できたと思う点はなんですか？

自分で時間配分を考えて行動できるようになりました。食事、洗濯、学習、遊びの時間を全て自分で効率よくどう動けるか考えなければ人物面で成長できなかったと思います。外国人学生と関わることで、その国の人の宗教観や考えに触れました。それらは日本人と同じであったり、全く違うところもありました。触れられたことによって知識も得られたし、気をつけて行動できるようになりました。

■ 今後、この留学経験をどう生かしていこうと考えていますか？

留学の軸としていたのは、中国語を習得することなので、中国語を生かせることがしたいです。留学生のサポートやボランティアを中心として活動がしていけたらと思っています。

■ 留学は楽しかったですか？ 留学して良かったですか？ 留学を終えての感想を

留学して良かったと思います。より一層中国語に興味を持つことができました。また、中国人学生と関わることによって学生目線からの日本に対しての考えや興味、実際に中国に行くことによって体感できた本当の中国、外国人学生と関わることで、多少なりとも知ることができた様々な国々の文化など、たくさんの知識を得られ、興味を持つことができましたと思います。

留学アドバイス

■ 中国及び派遣先大学の印象は？

新キャンパスに比べて旧キャンパスの建物は古いものの緑も多く、広々とした印象です。クラスメイトも多国籍で先生との距離感も近いので、授業中だけでなく休み時間も和気あいあいとして学習環境としてはとても良かったです。

■ 留学して一番困った・大変だったことは？

一番困ったことは、英語が話せなかったことです。聞く力はあっても話す力を持ち合わせていなかったため、クラスメイトに質問することさえ難しかったです。あとは、生活環境に慣れるのが大変でした。特にお手洗いや浴室の環境でした。

■ 留学中の楽しかった・嬉しかったできごとは？

だんだん中国語が話せるようになってきてから、仲の良い友達と遊びに行ったり、日本語学科の学生さんと勉強したり、日本や日本語に興味を持ってきている人達と関係を作ることができたことです。他の国の人達も日本のアニメが好きだと言ってくれたり、日本語を勉強したいと言ってくれる人がいたことです。

■留学先に持ってきて良かった・持ってくれば良かったと思ったものは？

持って行って良かったものは、中に区切りのたくさんあるファイルです。理由としては、学校関係の書類、領収書、友達からもらったものやチケットなどを分かりやすく残しておけるからです。

歯ブラシも持って行って良かったです。中国の成人用のものは幅が大きいものがほとんどで磨きにくいので、一度帰国したときに、持って行って良かったと思いました。

持っていけばよかったものは、酔い止めです。中国のバスの運転は急発進・急ブレーキが多いのでとても気分が悪くなりました。

■留学中のお金の管理はどうしていましたか？

私の場合は中国で銀行口座を作りました。日本で元々持っていたデビットカードを海外でも使えるようにし、デビットカードでまず日本の銀行口座からお金を引き出します。その後は、中国の口座に出したお金を入れていました。あとは、微信や支付宝と紐づけして携帯電話からの支払いで過ごしていました。

■派遣先大学での生活環境はどうでしたか？

寮と言ってもホテルなのでそこでの関係はあまりなく、顔を合わせれば挨拶をする程度でした。ルームメイトは当初私が中国語も英語も話せなかったこともあり、日本人の学生と話をつけて同じ部屋にしてもらいました。食事面に関しては、油、辛さ、量の多さが全く違うので、はじめは大変でした。

■派遣先大学での課外活動はどんなものがありましたか？

私が行く1年ほど前から陝西師範大学におられた日本人の方が日本語コーナーを立ち上げてくれました。そこでは、日中文化の交流や日本語学科の学生さん、日本に興味のある人との交流が行われていました。

■どのような国籍の留学生がいましたか？

世界各国からの学生さんが来ていました。特に多いのは一帯一路政策で関わりの深い中央アジア諸国の学生さんたちでした。日本人留学生は前期5人、後期で9人でした。

■渡航前にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

数字を聞き取れるだけのリスニング能力は身につけておくこと。数字と簡単な単語は言えるようにしておくこと。

■渡航後にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

予習復習を欠かさずすること。中国人学生と関わること。

■今後の派遣留学生にむけてアドバイスを

生活面ではお金の管理や片付け、洗濯など一人で行わなければいけないことが増えたり、海外にいるので自分で責任を取らなければなりません。学習面では、聞き取れない、話せない状況が続いて、辛い時期が必ずあります。でも一人で悩まずに仲の良い友達に話したり遊びに行ったり気楽に過ごせば良いと思います。

留学体験記

私は大学入学後に学んだ中国語に興味を持ちました。学習の楽しさを感じ、中国語で会話をしたい、それを胸を張ってできると言えるものになりたいと思いました。留学しようと強く思えたのは、積極的に何かをすることが苦手な自分の性格を変えたいと思った事と、中国語を話したいと思えた気持ちを自分の性格で失いたくなかったからです。実際に留学してからは、中国人学生と一緒に勉強したり遊びに行ったり、日本語コーナーという場を開き日中の文化交流を図りました。クラスでは、初めは緊張や聞き取れないということから質問に答えられない、会話がうまくできないことが多くありました。しかし、慣れていくとクラスメイトともコミュニケーションが取れるようになり、日本や日本のアニメに興味があるという学生とも出会うことができ、とても楽しかったです。生活面では交換留学制度の利用で両国の大学のバックアップのもと、不安なく過ごすことができました。この一年間の留学は私を成長させてくれた貴重なものです。いろんな人と関わることができ視野を広げることができました。これからも外国の人と関わる機会を見つけ交流したいと思います。